

豊中市立図書館に関するアンケート調査報告書【概要版・自由記述編】 豊中市教育委員会事務局読書振興課 令和2年（2020年）3月

自由記述のご意見を一部抜粋・補足しています。（○は市民アンケートからの意見、●は来館者アンケートからの意見、◎は両方からの意見）

1. 機能について

◎子どもにとって身近な図書館であってほしい ◎本を好きになれる働きかけを望む ○災害時の避難所となるなどフレキシブルな活用も見えるとよい
○豊中の過去から継承されて来た文化、生活、場所等を子どもたちに伝える役割を担ってもらいたい ●大人も楽しめる図書館であってほしい
●高齢者の交流の場を希望 ●情報格差を埋める機能を望む ●ひきこもり等で社会参加しづらい人が足を運ぶ場所としていつまでも存続してほしい

2. 蔵書について

質・量	種別
◎本が少ない(数が少ない、種類が少ない、他市に比べて少ない) ◎新しい本が少ない、古い本を整理して新しい本を補充してほしい ◎人気の本を増やしてほしい◎人気の本ばかり買わないでほしい ●新刊をどういう経緯で入れているのか明らかにしてほしい ●各図書館での蔵書の特色を出してほしい	◎専門書・実用書が少ない・古い ◎CD・DVDの充実を希望 ◎マンガの充実を希望 ◎電子書籍サービスを希望 ◎深く探求するときは電子書籍よりも書籍が有効 ○誰も借りない専門書は不要 ○外国の子どもにも読みやすい本を希望 ●小説の充実 ●本屋では無い少し前の本や全集も置いてほしい ●YA部門も蔵書を増やすレイアウトを考えるなど検討してほしい ●大活字本を増やしてほしい ●雑誌の充実を希望
展示・配架	その他
◎作者別がよい ◎子どもの年齢や読む力にあったコーナーがあるとよい ○豊中市(地域)の歴史や文化財の紹介があればよい ●コーナーにあるラベル通りに探せない ●区分け方法が分かりにくい ●新書文庫は出版社別がよい ●図書館どうして入れ替えをしてほしい	◎市民からの寄贈を受け入れるとよい ◎図書への汚れに対する対応をとってほしい(所蔵図書の劣化が激しい、本のおいがかくさい時がある、等)

収集資料の種類や重点的に収集する資料は「豊中市立図書館資料収集方針」に定め、資料の選定は選書委員会で行っています。劣化が激しい資料については買い替えを含めて検討し、資料の扱いに関するマナーの啓発に取り組みます。各図書館では、岡町(医療・健康情報)、庄内(多文化共生)、千里(ビジネス・就労支援)、野畑(子育て・DV防止)と、テーマごとに資料コーナーを設けるなどの特色を出しています。いただいたご意見を参考にして、より魅力ある書架づくりに取り組みます。

3. サービスについて

貸出・予約	インターネットサービス
◎貸出期間を長くしてほしい ◎貸出・予約の冊数を増やしてほしい ○リクエストの期間が長すぎる ●予約が無い本は延長できるようにしてほしい(他市借用本も含め) ●返却遅延者等ルール違反へのペナルティー化・有料化	◎予約システムが使いにくい ◎入荷前や豊中市に所蔵のない資料もネットで予約出来るようにしてほしい ○予約が集中するので最初の1か月は館内閲覧のみに限定してはどうか ●貸出や予約の履歴が見られるとよい ●携帯に返却日リマインドのメールが届くようにしてほしい ●予約のキャンセル機能や繰り下げ(順番をずらす)機能があればよい ●以前のupdateの際に利用者の意見を受け付けていない。ユーザーの声を聞く努力をしてほしい
広域連携	サービスポイント
◎返却がどこの市でも出来るようになれば嬉しい ●広域利用で予約もできるとありがたい ●県(市)の枠を取り払って本が届くとうありがたい	◎返却・予約の受け取りができるサービス拠点を増やしてほしい ◎主要な駅等に返却拠点を増やしてほしい ◎返却ポストを開館中も使用できるとよい ●予約本の受け取りを24H可能にする(例:宅急便の駅ロッカー)
ICT	サービスポイント
◎読書通帳を取り入れてほしい ○無人IT化サービスの推進は却って利用者の足を遠ざけるのでは ●予約資料を自分で借りるスペースで本が探しにくい ●すてっぷや教育センターも同じカードで借りられるようにしてほしい	◎郷土資料について勉強する機会やイベント ○わざわざ行きたいと思えるような企画やサービスがないと魅力を感じない ●専門家による講演 ●資格を取るためのスクールのようなもの ●子どもの学習スクール ●目的に合わせた色々な読み方(How)まで含めた子ども向け読書啓発活動 ●中央図書館でも「書庫に入れるDAY」を希望 ●しょうないREKの販売日を増やしてほしい ●映画会はお金をとってもよい
利用上のルール・マナー	行事
◎座席やパソコンの長時間の利用に制限をしてほしい ◎寝ている人、いびきをかいている人への対策をしてほしい ○雑誌の閲覧場所が女性が座りにくい雰囲気がある ●新しい雑誌を一人で何冊も取っている人がいる ●借りた本に線を引くなど、借りる人のマナーを注意してほしい	◎郷土資料について勉強する機会やイベント ○わざわざ行きたいと思えるような企画やサービスがないと魅力を感じない ●専門家による講演 ●資格を取るためのスクールのようなもの ●子どもの学習スクール ●目的に合わせた色々な読み方(How)まで含めた子ども向け読書啓発活動 ●中央図書館でも「書庫に入れるDAY」を希望 ●しょうないREKの販売日を増やしてほしい ●映画会はお金をとってもよい
その他・読書支援等	広報
◎もっと本の紹介をしてほしい、おすすめ本を教えてほしい ◎子どもたちが本に興味を持てるようなサポートや取組みを希望 ●見つけられない本をカウンターで相談する業務は必要	◎もっと情報を発信してほしい、利用方法が分からず利用したくてもできない ○SNS等の活用 ○広報とよやかに行事や情報を分かりやすく載せてほしい ●全く利用しない人と呼び込む(漫画もあることを知らない人が多いのでは)

ICTを活用したサービスや広域連携の拡充を進めます。図書館の再編を進めるなかでサービス拠点の拡充を検討します。すべての利用者にとって居心地のよい場となるよう、利用上のルールやマナーの周知に取り組みます。紙媒体でのお知らせも充実させながら、SNSの活用や動画コンテンツの提供について検討をすすめていきます。図書館システムや行事についても、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

4. 施設・設備等について

全体	◎読書を楽しむ静かな環境を希望 ◎座席の充実、一部有料で差別化しても良い ◎出入口やトイレ等、バリアフリーに力を入れてほしい ○街のあり方ともつながるので外観も大切 ●外国人も利用しやすい環境になるとよい(最低でも英語の表記はあるべき)
席・フロア	◎パソコン利用席の充実を希望 ◎静かに読書できるスペースと会話しながらの閲覧やグループで読む場所のどちらもあればよい ○パソコン持ち込み席は必要ない ●CD・DVDの視聴ができるとよい ●wifi(freespot)の接続が不安定なので改善してほしい
子どもスペース	◎親子で気がねなく過ごせるスペースと静かに読書するスペースを分けるとよい ○子どもがうるさくしてもよい施設であれば利用しやすい ○赤ちゃんと気軽に利用できる部屋が常設であればよい ●若者・子ども向けのスペースが狭い、靴をぬいで読むスペースが狭い ●マットが汚い ●子どもたちが楽しく喋りながら本が読めるスペースがあればよい
自習室	◎全ての図書館で自習室を開放してほしい ◎話をしながらグループで勉強できる場所がほしい ●持込み資料での勉強を認めてほしい ●調べ物と自習室の併用的な使い方が出来ればよい
飲食・会話	◎飲食できるスペースがほしい(カフェ、コンビニ、持込み可能なスペース、等) ●飲食は今まで通り禁止がよい ●会話できる場所がほしい
駐車場	◎駐車場が少ない ◎一部有料や近隣のコインパーキングとの提携等も検討して駐車場の台数を確保してほしい ●駐輪スペースが狭い
その他	○自由空間の(スペース)の拡大確保をお願いします ○入口近くのパンフレット(催し物、講演会など)がたくさんあり見にくい ●本を消毒できるシステムがあればいい ●図書館と行政の政治的中立を担保するために政治目的での集会室利用が出来るようにする

老朽化が進み、空調の不具合等ご迷惑をおかけしております。令和2年度は、服部図書館と高川図書館の空調工事を行います。会話やパソコン利用ができる席、静かに読書できるスペースなど利用に応じた配置を検討します。居心地よい館内環境の整備に向けて取り組みます。

5. 運営について

開館日・時間	◎開館時間の延長希望(22時まで、土日を長く、平日1日だけでも、参考室やこども室を長く、朝を早く、等) ●休館日を減らしてほしい(年末年始休館が長すぎる、月末の金曜を開けてほしい、等) ●いぶき図書室の開館日数・時間を長くしてほしい
職員対応	◎職員はいつも親切に丁寧に対応している ◎本で調べる方法を伝える役割を職員に期待する ○手話が出来るスタッフ等充実してほしい ○リクエストやレファレンスにこたえられないことが多い ○職員に身なりのできない人が多い ●専門知識を持つ職員が必要か疑問 ●専門の知識を持つ職員の存在は大きく頼りにしている ●子どもの本のアドバイスをしてくれる人がいるとよい
その他、委託について等	◎民間委託はやめてほしい、未来への投資として行政が責任を持って質の高い図書館サービスを進めてほしい ○何度も行きたくなる工夫があるには民間の協力も必要 ○武雄市図書館みたいに民間の力をかりて全国から人が訪れる図書館にしてほしい ○図書館内に市民活動団体の事務局機能を持つのはどうかと思う。(地方公務員法に抵触するのでは) ●民間に委託すると偏った蔵書になるのではと不安 ●企業が利益を得られなくなった場合や利用状況等の個人情報の保護をどうするのか想定できない

開館日等の拡充にあたっては、中央図書館を核とした施設配置の再編のなかで検討します。職員の専門性と接遇の向上をめざし、よりきめ細やかな接客を行います。サービスの質の維持・向上を図りながら効率的・効果的に図書館運営を行っていくとともに、地域特性をふまえた特色ある図書館づくりを進めていくため、サービス及び経営の両面から業務の実施主体の見直しも含め、最適な実施手法を確立していきます

6. 再編・再配置(仮称中央図書館立地等も含む)について

集約・再編	◎図書館を減らさないでほしい、小規模でも幅広いエリアにある方がよい ◎中央図書館により現在のサービスが低下するのはやめてほしい ◎駅前など利用の多い館のみ残して集約すべき ●地域に根付いた分館の役割が重要
立地	◎中央図書館を作るなら駅から近く利便性のよい場所がよい ◎移動図書館の巡回を増やしてほしい、図書館のない校区に回ってほしい ◎豊中駅前近がよい、エトレ内の施設も図書館にするべき ◎千里中央付近がよい ○中央図書館を含め図書館の巡回バスを走らせてほしい ●サービスを集約するなら駅前や市役所等にサービスポイントを作ってほしい
複合化	◎児童館やプレイルームとの併設がよい ◎図書館の建物にこだわらず公共施設として費用対効果を考えて複合化や活用方法を検討すべき ○美術館・資料館・博物館・映画館等の文化施設を集めて気軽に利用できるとよい ○本を中心としてカフェや公園と併設であれば利用したい ○図書館機能に特化し余計な施設は併設しないで欲しい ●買い物等と一緒にすませられる場所にあるとよい ●施設の集約については図書館単独ではなく市民サービスの拠点として市全体で議論が必要
コスト	◎建物より蔵書や人に予算を使ってほしい ◎ICT等を活用してコスト削減をはかるとよい ○経費削減のための集約を進めるなら、現状の経費の収支を公開し、どこを削減し、どのように集約化を進めるかを広く市民に問うべき ●小額での有料化やボランティアとの協働等でコストの負担を下げるとよい ●無人化をすすめるのではなく人の温かみのあるサービスを望む
その他	○地域の図書館で児童書を充実させ中央図書館は専門書等の拡充にあててほしい ○新しい図書館や郷土資料館は不要 ○他府県市を調べて適正な運営あり方を考えてほしい ●中央を求めるより大阪府や他市(府内)との連携強化を指向すべき

地域の図書館をご利用くださりありがとうございます。(仮称)中央図書館基本構想の中で、施設の再編についても検討してまいります。

7. その他

◎中央図書館に期待している ◎いつも気持ちよく便利に利用している ○こんなにあると知らなかった。利用してみたい ○図書館を利用する機会が普段から乏しいので何の目的で利用したらいいのかわからない 【アンケートについて】○質問が多すぎる ●アンケート結果を各館で公表してほしい